

小学校特別支援学級 教科別の指導「算数」学習指導案

日 時 令和〇年〇〇月〇〇日 (〇)
〇校時 〇〇 : 〇〇 ~ 〇〇 : 〇〇
場 所 〇〇〇学級 〇組
指導者 教諭 〇〇 〇〇
介助員 〇〇 〇〇

- 1 題材名 1年「くり上がりのあるたしざん」「課題学習」
2年「くり上がりのあるたし算の筆算」「課題学習」

2 題材設定の理由

(1) 学級及び児童の実態 (省略)

(2) 題材について

1年…本時の学習は、学習指導要領、第1学年2内容A「数と計算」(2)イに示されている。児童は1学期に「いくつといくつ」で10までの数の構成を学習し、「たし算」では、和が10以内の加法を学習している。10の合成・分解という数の構成的な見方は、これからの計算の基礎となる重要な内容である。よって、100玉そろばんを使用し、継続して復習している。また「20までの数」も学習してきた。本時の学習では、「20までの数」での学習をもとに、繰り上がりを「10といくつ」ととらえることが要点となる。まず、「10のまとまり」をつくる方法で解決していくことを理解するために、数図ブロックで具体的操作をくり返し行い、計算の仕方を確実に身に付けるようにする。そして、操作したことをさくらんぼ計算や言葉で表現する活動をすることにより、さらに理解を深めたい。

2年…本時の学習は、学習指導要領、第2学年2内容A「数と計算」(2)アに示されている。児童は1学期に、「たし算とひき算の筆算」で繰り上がりのある(2位数) + (2位数)の筆算や繰り下がりのある(2位数) - (2位数)の筆算を学習してきた(答えが2けた)。その中で、基本的な筆算の形式の仕組みを理解し、手順が書いてあるヒントカードを見ながら、筆算ができるようになってきた。本時の学習「くり上がりのたし算の筆算」では、初めて答えが3桁になる筆算や繰り上がり2回ある筆算の計算を行う。2回繰り上がりがあることや数が大きくなったことで抵抗を感じる児童もいるので、個に応じた言葉かけやヒントカードを工夫して、意欲を高めたい。本時の問題は、十の位が空位になる場合の筆算である。空位のある3位数について、計算棒を使用することで、視覚的に把握できるようにし、10の束がないときは十の位に0を書くことをしっかり押さえたい。繰り上がりの仕方をよく理解させた上で、練習問題をくり返し行い「自分で筆算ができる」という自信へとつなげていきたい。

授業の構成は、児童が見通しをもち、意欲をもって学習に取り組むことができるように、大きく2つの工夫をしている。①授業の導入では、頭の体操として「100玉そろばん」の学習を行っている。毎時間行うことで児童が見通しをもって安心して取り組める課題であると同時に算数の基礎作りにもつながると考え、2学期から継続して取り組んでいる。②次に、個別の課題学習として「復習タイム」を行っている。それぞれ取り組む問題は、既習内容の中で児童が苦手としている学習内容を取り上げている。本時の復習タイムでは、全員同じ課題の学習「ピッタリ金額」を行う。

生活の自立をめざし、金種を理解し、金額に合わせてお金を選ぶことができることや3位数や2位数の大小を比較することができることを目標に取り組んでいる。復習タイムは、短い時間を設定し、苦手としている課題をスモールステップで継続して行うようにしている。①②の学習のあと、「今日の問題」に入るというパターン化した構成で授業を展開することで、児童が見通しをもって学習に取り組むことができている。

(3) 指導・支援について

本学級での算数の学習形態は、個別の課題学習（既習内容の復習）を行ったあと、各学年の学習内容を進めていく方法で授業を展開している。授業の流れを掲示することで見通しをもって学習できるようにするとともに、活動の区切りを明確にしたり、机上を整理したり、集中できる環境も考慮している。

各学年の学習では、教育課程の継続性・系統性をふまえて、子どもたちの「学びの基礎」を高めるために、教科書を使用した学習を進めている。児童のつまづきが見られるときは、既習内容にもどったり、くり返し学習したりしている。内容については、児童の実態に応じて生活の自立のために必要な内容を選択したり、学習課題を日常生活に根ざした問題に変えたりしている。指導にあたっては、本題材を通して数量や計算の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、学んだことを活用して問題を解決したり、他の学習や生活に活用したりできる力を育みたい。そのためには、児童に「わかる・できる喜び」を味わわせ、自信をもって取り組めるよう個々の実態に応じた支援を行う。声をだしながら具体的操作を繰り返し行い、計算の手順をしっかりと身に付けたい。

個別の課題学習では、児童の実態を把握し、個々に応じた学習課題・支援教材・課題の量の調整・環境設定などを工夫することで、児童が主体的に学ぶことができる支援を行う。児童が将来、自立した生活を送ることができるように、生活に根ざした算数の学習を工夫し、支援していけるようにしたい。

3 題材の目標

- (1) (1位数) + (1位数) で、繰り上がりのある場合の計算の仕方を理解し、計算することができる。 (1年生)
- (2) (2位数) + (2位数) で一の位と十の位に繰り上がりのある筆算することができる。 (2年生)
- (3) ・金額に合わせてお金を選ぶことができる。
・数の大小を比較することができる。 (課題学習1・2年生)

4 指導計画

1年(17時間扱い 本時14/17)

時間	学習内容	ねらい
1～4	(1位数) + (1位数) で繰り上がりのあるたし算について、10をつくることのよさがわかり、数図ブロックを用いて8+3や9+	(1位数) + (1位数) で繰り上がりのあるたし算について、数図ブロックを用いて、10の補数を考えて、加数を分解して10を作り計算することができる。

	4の計算を考える。	
5～9	(1位数) + (1位数) で繰り上がりのあるたし算について、数図ブロックを動かさずに、計算の仕方を声に出して言う。(さくらんぼ計算)	(1位数) + (1位数) で繰り上がりのあるたし算について、10の補数を利用した計算を数図ブロックを動かさずに、計算することができる。
10～12	被加数が6以上のたし算、 $9+\square$ 、 $8+\square$ 、 $7+\square$ 、 $6+\square$ の部分を変えてたし算の練習をする。	被加数が6以上のたし算の□にあてはまる数を変えても10の補数を利用した計算方法で計算することができる。
13～15 本時14 時間目	被加数が5以下のたし算、 $5+\square$ 、 $4+\square$ 、 $3+\square$ 、 $2+\square$ の部分を変えてたし算の練習をする。	被加数が6以上のたし算の□にあてはまる数を変えても10の補数を利用した計算方法で計算することができる。
16・17	繰り上がりのあるたし算を練習する。	繰り上がりのあるたし算を正確に解くことができる。

2年(10時間扱い 本時7/10)

1	既習事項の復習 (2位数) + (2位数) で繰り上がりのある筆算の練習をする	(2位数) + (2位数) で繰り上がりのある筆算ができる。
2・3	$54+72$ の筆算では、十の位に繰り上がりがあることに気づき、既習を生かして考える。	2桁のたし算の筆算をいかして、(2位数) + (2位数) で十の位に繰り上がりのある筆算ができる。
4～6	$65+78$ の筆算には、2回の繰り上がりがあることに気づき、既習を生かして考える。	(2位数) + (2位数) で繰り上がりが2回ある筆算がヒントカードや計算棒を使ってできる。
7・8 本時7時 間目	$38+67$ の筆算では、2回繰り上がりがあり、十の位が空位になる筆算の方法を知る。	繰り上がりが2回ある筆算で十の位が空位になる筆算をすることができる。
9・10	(2位数) + (2位数) のたし算を練習する。	いろいろな問題に取り組み、学習内容を確実に身に付ける。

5 本時の学習

(1) 共通目標

- ① 本時の学習課題(1年…繰り上がりのあるたし算・2年…繰り上がりのある筆算)に最後まで取り組むことができる。
- ② 意欲的に課題学習に取り組むことができる。

(2) 児童の実態

学年	名前	① 本題材に関する実態 ② 課題学習に関する実態	個人目標	支援の手だて
〇 年 〇	A	<p>① 10までのたし算・ひき算では、指を使って答えを出すことができるようになってきた。計算練習では、集中が続き、鉛筆や消しゴムで遊んでしまうことがある。</p> <p>② 「100玉そろばん」そろばんを動かしながら声を出すことができるようになってきた。 「ピッタリ金額」お金の模型を使った学習は初めて行う。</p>	<p>① 繰り上がりのたし算を10の補数を利用して計算することができる。</p> <p>② 「100玉そろばん」正しく数えることができる。 「ピッタリ金額」提示された金額を補助してもらいながら出すことができる。</p>	<p>① 分解の仕方をつまづいた時は、計算の手順が書いてあるヒントカード掲示し、確認するようにする。机上は、必要な物だけを置き、集中できるようにする。</p> <p>② 「100玉そろばん」そろばんを動かすときに遅れることがあるので、介助する。 「ピッタリ金額」いろいろなことに気が散ってしまうため、介助員がそばにいて活動を手伝い、落ち着いて活動できるようにする。</p>
〇 年 〇	B	<p>① たし算やひき算の筆算の仕方は理解できているが、計算の学習に苦手意識があるため、最後まで集中して取り組めないことがある。</p> <p>② 「100玉そろばん」声を出さないが、よく理解できている。 「ピッタリ金額」お金に関心があり、正しく提示された金額を出すことができる。</p>	<p>① 2回繰り上がりのあるたし算で、10の位が空位になることに気づき計算することができる。</p> <p>② 「100玉そろばん」落ち着いて算数の学習に入ることができる。 「ピッタリ金額」5円や50円、500円なども使って金額を出すことができる。</p>	<p>① 今まで学習してきた筆算の違いに気づかせるために、前時の学習内容を掲示し、比べさせる。</p> <p>② 「100玉そろばん」友だちの声に合わせて口を動かしたり、そろばんを動かしたりしていたら評価をし、落ち着いて学習に入れるようにする。 「ピッタリ金額」変身できるお金があるねと声をかけて、5円や50円、500円を意識させる。</p>

○ 年 ○	C	<p>① 10までのたし算、ひき算の計算も指を使って行っている。筆算は少しずつ一人で行えるようになってきた。計算問題に真面目に取り組むことができるが計算ミスが多い。</p> <p>② 「100玉そろばん」 声は小さいが理解しながら、そろばんを動かしている。 「ピッタリ金額」 提示された金額を正しく出すことができるが、まだ、5円・50円・500円の使い方をしっかり理解できていない。</p>	<p>① 2回繰り上がりのあるたし算で、10の位が空位になることを知り、計算することができる。</p> <p>② 「100玉そろばん」 自信をもって声を出して数えることができる。 「ピッタリ金額」 提示された金額を自分で出すことができる。</p>	<p>① 計算棒を使用して、十の位が空位になることを視覚的に分かるようにする。</p> <p>② 「100玉そろばん」 教員が近くで自信をもって声を出して数えるように言葉かけをする。 「ピッタリ金額」 早く金額を出すことができたら、ヒントカードを出して、5円や50円、500円に変身できないか考えさせる。</p>
○ 年 ○	D	<p>① 10までのたし算、ひき算の計算も指を使って行っている。筆算も少しのヒントで、できるようになってきているが時間がかかる。</p> <p>② 「100玉そろばん」 自信がつくと大きな声で数えることができる。 「ピッタリ金額」 提示された金額のヒントをもらいながら正しく出すことができる。まだ、5円・50円・500円の使い方を理解できていない。</p>	<p>① 2回繰り上がりのあるたし算で、10の位が空位になることを知り、ヒントカードを見ながら計算することができる。</p> <p>② 「100玉そろばん」 自信をもって声を出して数えることができる。 「ピッタリ金額」 提示された金額を自分で出すことができる。</p>	<p>① 計算棒を使用して、十の位が空位になることを視覚的に分かるようにする。</p> <p>② 「100玉そろばん」 つまずくところを把握して、教員と一緒に数えるようにする。 「ピッタリ金額」 悩んでいるときは、ヒントを出して、できるだけ自分で出せるようにする。枚数にこだわらず、正しく出せるように声をかける。</p>

(3) 展開

時間	学習内容	○児童の活動 ◎予想される児童の反応 □指導者の主な指示 発語等 ※支援の手だて *評価の観点				資料				
		A ○年・○	B ○年・○	C ○年・○	D ○年・○					
3分	<p>1 はじめのあいさつ</p> <p>2 本時の学習内容を知る</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/>背中はピン、手はピタできていますか。 <input type="checkbox"/>日直のあいさつで授業を始める。 </div> <p>※全児童が良い姿勢になってからあいさつをはじめるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/>今日の算数で勉強することを説明します。 <input type="checkbox"/>授業の流れの掲示に注目をし、授業の見通しをもつ。 </div> <p>※授業の流れに注目できるように一つずつホワイトボードに貼る。 ※机の上には何も置かずに話に注目させる。</p>				ホワイトボード				
5分	<p>3 頭の体操 「100玉そろばん」をする。</p> <p>10を作る 2とび 5とび 10とび</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/>頭の体操をしましょう。 <input type="checkbox"/>そろばんを動かしながら、10を作る（1と9で10）・2とび・5とび・10とびの数を数える。 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> ◎教師が側にいて一緒に数えると意欲的に取り組む。 ※介助員がそろばんを動かすのを手伝い一緒に数える。 </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> ◎理解できているが声を出さない。 ※友だちの声に合わせて口を動かしたり、そろばんを動かしたりしていたら、落ち着いて学習に入れるようにする。 </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> ◎自信がないため、声が小さい。 ※教員が近くで自信をもって声を出して数えるように言葉かけをする。 </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;"> ◎分かるところは大きな声で数える。 ※つまずくところを把握して、教員と一緒に数えるようにする。 </td> </tr> </table>				◎教師が側にいて一緒に数えると意欲的に取り組む。 ※介助員がそろばんを動かすのを手伝い一緒に数える。	◎理解できているが声を出さない。 ※友だちの声に合わせて口を動かしたり、そろばんを動かしたりしていたら、落ち着いて学習に入れるようにする。	◎自信がないため、声が小さい。 ※教員が近くで自信をもって声を出して数えるように言葉かけをする。	◎分かるところは大きな声で数える。 ※つまずくところを把握して、教員と一緒に数えるようにする。	百玉そろばん
◎教師が側にいて一緒に数えると意欲的に取り組む。 ※介助員がそろばんを動かすのを手伝い一緒に数える。	◎理解できているが声を出さない。 ※友だちの声に合わせて口を動かしたり、そろばんを動かしたりしていたら、落ち着いて学習に入れるようにする。	◎自信がないため、声が小さい。 ※教員が近くで自信をもって声を出して数えるように言葉かけをする。	◎分かるところは大きな声で数える。 ※つまずくところを把握して、教員と一緒に数えるようにする。							

10分	4 復習タイム 「ピッタリ金額」	<input type="checkbox"/> ピッタリ金額を出して買い物をしましょう。 1つ買い物ができたら2つめを買い物します。 <input type="checkbox"/> 好きな品物を選んで、ピッタリ金額を出す。	お金の模型 買い物用の広告 ワークシート						
<p>※全ての金額が見えやすく、取りやすいように小さい箱にお金を入れる。</p> <p>※位を意識して学習できるようにシートを工夫する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="507 533 730 1391" style="width: 25%;"> ◎ヒントをもらおうとピッタリ金額を出すことができる。 ※介助員がそばにいて活動を手伝い、落ち着いて活動できるようにする。 *提示された金額を教員に補助してもらいながら出すことができたか。 </td> <td data-bbox="730 533 941 1391" style="width: 25%;"> ◎ピッタリ金額を出すことができる。 ※変身できるお金があるねと声をかけて、5円や50円、500円を意識させる。 *提示された金額を5円・50円・500円なども使って出すことができたか。 </td> <td data-bbox="941 533 1152 1391" style="width: 25%;"> ◎間違ふことがあるが、自分で金額を出すことができる。 ※早く金額を出すことができたなら、ヒントカードを出して、5円や50円、500円に変身できないか考えさせる。 *提示された金額を自分で出すことができたか。 </td> <td data-bbox="1152 533 1380 1391" style="width: 25%;"> ◎自信がないときは、動かなくなり、時間がかかる。 ※悩んでいるときは、ヒントを出して、できるだけ自分で出せるようにする。枚数にこだわらず、正しく出せるように言葉かけをする。 *提示された金額を自分で出すことができたか。 </td> </tr> </table>		◎ヒントをもらおうとピッタリ金額を出すことができる。 ※介助員がそばにいて活動を手伝い、落ち着いて活動できるようにする。 *提示された金額を教員に補助してもらいながら出すことができたか。		◎ピッタリ金額を出すことができる。 ※変身できるお金があるねと声をかけて、5円や50円、500円を意識させる。 *提示された金額を5円・50円・500円なども使って出すことができたか。	◎間違ふことがあるが、自分で金額を出すことができる。 ※早く金額を出すことができたなら、ヒントカードを出して、5円や50円、500円に変身できないか考えさせる。 *提示された金額を自分で出すことができたか。	◎自信がないときは、動かなくなり、時間がかかる。 ※悩んでいるときは、ヒントを出して、できるだけ自分で出せるようにする。枚数にこだわらず、正しく出せるように言葉かけをする。 *提示された金額を自分で出すことができたか。			
◎ヒントをもらおうとピッタリ金額を出すことができる。 ※介助員がそばにいて活動を手伝い、落ち着いて活動できるようにする。 *提示された金額を教員に補助してもらいながら出すことができたか。	◎ピッタリ金額を出すことができる。 ※変身できるお金があるねと声をかけて、5円や50円、500円を意識させる。 *提示された金額を5円・50円・500円なども使って出すことができたか。	◎間違ふことがあるが、自分で金額を出すことができる。 ※早く金額を出すことができたなら、ヒントカードを出して、5円や50円、500円に変身できないか考えさせる。 *提示された金額を自分で出すことができたか。	◎自信がないときは、動かなくなり、時間がかかる。 ※悩んでいるときは、ヒントを出して、できるだけ自分で出せるようにする。枚数にこだわらず、正しく出せるように言葉かけをする。 *提示された金額を自分で出すことができたか。						
22分	5 今日の問題に取り組む。	<input type="checkbox"/> 昨日勉強した計算をしてみよう。 <input type="checkbox"/> 前時の学習で行った3+9の計算を行う。 ◎加数・被加数	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="3" data-bbox="730 1391 1380 1624" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/>今日の問題を読んでみましょう。 <input type="checkbox"/>教師と一緒に声に出して読む。 <input type="checkbox"/>問題文をノートに書く。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="730 1624 941 1957" style="width: 33%;"> ※マスから出ないように声をかける。(自立活動・環境の把握) </td> <td data-bbox="941 1624 1152 1957" style="width: 33%;"> ※マスから出ないように声をかける。(自立活動・環境の把握) </td> <td data-bbox="1152 1624 1380 1957" style="width: 33%;"> ※書き始めるのが遅くなるため、どこから書くのかを個別に声をかける。 </td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 今日の問題を読んでみましょう。 <input type="checkbox"/> 教師と一緒に声に出して読む。 <input type="checkbox"/> 問題文をノートに書く。			※マスから出ないように声をかける。(自立活動・環境の把握)	※マスから出ないように声をかける。(自立活動・環境の把握)	※書き始めるのが遅くなるため、どこから書くのかを個別に声をかける。
<input type="checkbox"/> 今日の問題を読んでみましょう。 <input type="checkbox"/> 教師と一緒に声に出して読む。 <input type="checkbox"/> 問題文をノートに書く。									
※マスから出ないように声をかける。(自立活動・環境の把握)	※マスから出ないように声をかける。(自立活動・環境の把握)	※書き始めるのが遅くなるため、どこから書くのかを個別に声をかける。							

	<p>のどちらを分解するのか考えながら計算できる</p> <p>※繰り上がりのたし算は、10を作って考えることをおさえる。</p> <p>※分解の仕方です。つまずいた時は、計算の手順が書いてあるヒントカード掲示し、確認する。</p>	<p>□今日の問題を読んでみましょう。</p> <p>○教師と一緒に声を出して読み問題文をノートに書く。</p> <p>※板書を写すことが難しいので、「数字」と「合わせて」以外は、あらかじめノートに書いておく。</p> <p>□なに算ですか。</p> <p>◎合わせるだからガッチャンでたし算。</p>	<p>□何算ですか。式に書いてみましょう。</p> <p>○分かっていること(赤)と聞かれていること(青)にアンダーラインを引いて何算かを考える。</p> <p>◎たし算です。</p> <p>※日常生活の中で買い物をした場面を思い出させ、代金を考えるときはたし算をすることを確認する。</p> <p>□筆算で計算してみましょう。</p> <p>○自分で筆算をする。</p> <p>※分からず止まってしまう児童もいるため、間違っても良いから、自分でやってみようと声をかける。</p>			
			<p>◎既習内容をいかして計算ができる。</p> <p>※今まで学習してきた筆算の違いに気づかせるために、前時の学習内容を掲示し、比べさせる。</p> <p>*2回繰り上がりのある計算で、十の位</p>	<p>◎繰り上がりの仕方は理解できているが、十の位に0を書くことがわからない。</p> <p>※計算棒を使用して、十の位が空位になることを視覚的に分かるようにする。</p> <p>※姿勢保持ができず、動い</p>	<p>◎繰り上がりの仕方は理解できているが、十の位に0を書くことがわからない。</p> <p>※計算棒を使用して、十の位が空位になることを視覚的に分かるようにする。</p> <p>※周囲が気になってしまい、集中できないときは、仕切りを作</p>	<p>ヒントカード</p> <p>計算棒</p> <p>問題文の絵</p>

		<p>※何算か分からないときは、提示した絵を確認しながら問題のイメージをもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <input type="checkbox"/> 計算しましょう。 <input type="radio"/> 自分で計算する。 </div> <p>◎10を作って考えることができる。 ※数の分解でつまづいている時は、数図ブロックで考えさせる。 *繰り上がりのたし算を10の補数を利用して計算することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <input type="radio"/> 練習問題をする。 </div> <p>※集中が切れたときは、集中するように言葉をかけたり、あと何問で終わりかを伝えたりして見通しをもたせる。</p>	<p>が空位になることに気づき、計算することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <input type="radio"/> 練習問題をする。 </div> <p>※理解できたか確認してから練習問題にはいるようにする。 ※練習問題の数が自分で納得できないと最後まで集中できないため、最初に問題数を伝えて確認する。</p>	<p>てしまうため、座面中央に座るように声をかける。 (自立活動・身体の動き)</p> <p>*2回繰り上がりのある計算で、十の位が空位になることを知り、計算することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <input type="radio"/> 練習問題をする。 </div> <p>※理解できたか確認してから練習問題にはいるようにする。</p>	<p>り、あせらず計算できるようにする。</p> <p>*2回繰り上がりのある計算で、十の位が空位になる計算の仕方を知り、ヒントカードを見ながら計算することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <input type="radio"/> 練習問題をする。 </div> <p>※時間がかかるとあせって集中力がなくなるため、ゆっくりできるところまでで良いことを伝える。</p>	練習問題 プリント
--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------

5分	6 今日の学習をふりかえる。	<input type="checkbox"/> 今日の学習でがんばったことはなんですか。 <input type="checkbox"/> 自分が特に頑張ったことを自己評価する。	ホワイトボード
	7 おわりのあいさつ	<input type="checkbox"/> 日直のあいさつで授業を終わりにする。 ※集中が切れている児童にもあいさつは、しっかり行うように声をかける。	

6 評価

(1) 共通目標に係る評価

- ① 本時の学習課題（1年繰り上がりのあるたし算・2年繰り上がりのある筆算）に最後まで取り組むことができたか。
- ② 意欲的に個別課題学習に取り組むことができたか。

(2) 個人目標に係る評価

学年	名前	評 価
○年 (○)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がりのたし算を10の補数を利用して、計算することができたか。 ・提示された金額を教員に補助してもらいながら出すことができたか。
○年 (○)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・2回繰り上がりのある計算で、十の位が空位になることに気づき、計算することができたか。 ・提示された金額を5円・50円・500円なども使って出すことができたか。
○年 (○)	C	<ul style="list-style-type: none"> ・2回繰り上がりのある計算で、十の位が空位になる計算の仕方を知り、計算することができたか。 ・提示された金額を自分で出すことができたか。
○年 (○)	D	<ul style="list-style-type: none"> ・2回繰り上がりのある計算で、十の位が空位になる計算の仕方を知り、ヒントカードを見ながら計算することができたか。 ・提示された金額を自分で出すことができたか。

7 教室環境図

